

平成31年度 北見情報ビジネス専門学校の情報提供

下記の内容にて情報提供をいたします。

1. 学校の概要、目標及び計画

- (1) 校訓・教育目標および教育方針
- (2) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等
- (3) 学校の沿革、歴史

2. 各学科等の教育内容

- (1) 入学者に関する受入れ方針及び定員
- (2) カリキュラム
- (3) 進級・卒業の要件等
- (4) 成績評価
- (4) 目標とする資格や職業
- (5) 卒業後の主な進路先

3. 組織及び教職員の状況

- (1) 教職員の組織

4. キャリア教育・職業教育

- (1) 職業教育（就職支援体制と取り組み、企業実習への取り組み）

5. 様々な教育活動・教育環境

- (1) 様々な教育活動・教育環境（学校行事、課外活動、他）

6. 学生の生活支援

- (1) 学生支援への取組状況

7. 学生納付金・修学支援

- (1) 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）
- (2) 奨学金、授業料減免等の経済的支援措置

8. 学校の財務状況

- (1) 貸借対象表

9. 学校評価

- (1) 自己評価
- (2) 学校関係者評価報告書

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 校訓・教育目標および教育方針

<校訓>

誇りと勇気

<教育目標>

1. 育自の精神を基に誇りと勇気をもって行動できる人材
2. 正確な知識・技能が発揮できるため、気配り、心配りができる人材
3. 存在感のある人材、あてにされる人材、マナーの備わった人材

※育自…自分を育てる意の造語

生きがい、働きがい、自ら創生する、生涯自分を磨き育てる

<教育方針>

3本の柱

1. 自分自身

学習はだれのためのものではない。自分が人間らしく生きていく糧として、自学自習の精神で取り組むものである。

2. 進取

好奇心は情報をキャッチするアンテナであり、常に新たなものに挑戦し、先んじて行動することが勝利への道となる

3. 継続

志を決めたら決してあきらめずやり通す気概を持ち、積み重ねることが大きな力になることを念頭に今を続ける。

(2) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等

理事長 柏尾典秀

北見情報ビジネス専門学校 校長 中村秀幸

〒090-0817 北海道北見市常盤町3丁目14-18

TEL: 0157-61-5588 / FAX: 0157-61-7298

(3) 学校の沿革、歴史

<沿革>

昭和60年12月4日	北見情報ビジネス専門学校設置認可
昭和61年4月1日	北見情報ビジネス専門学校開設 情報経理科、ビジネス会計科、ビジネス秘書科の3学科設置
昭和61年7月	無料職業紹介所の認定を受ける
昭和62年7月	旅客運賃割引学校指定の認定を受ける
平成2年4月	情報経理科に「ソフトウェア短大コース」、「ソフトウェア会計コース」の設置、ビジネス秘書科からビジネスOA科に名称変更し「OAオペレータコース」と「ワープロインストラクタコース」の設置
平成4年4月	ビジネス会計科に「公務員受験コース」、「経理実務士コース」の設置
平成7年1月	「専門士」(商業実務専門士)称号付与校
平成7年4月	ビジネスOA科に医療ビジネスコース新設
平成8年9月	北見情報ビジネス専門学校10周年記念式典挙行
平成9年4月	パソコン新機種導入
平成9年9月	栗原学園ホームページの開設
平成11年4月	学校教育法施行規則の改正により大学編入制度施行
平成12年4月	サーバ・パソコン50台増設に伴い、コンピュータ室を増設
平成12年7月	情報ビジネス科から情報通信科に名称変更
平成16年4月	総合事務科新設
平成17年10月	北見情報ビジネス専門学校20周年式典挙行
平成22年5月	コンピュータ室パソコン(26台)入替
平成23年5月	学校個別のホームページを統合し栗原学園ホームページの開設 2室のコンピュータ室を1室に統合15台のパソコンを入替
平成25年4月	総合事務科に「医療秘書コース」、「経理事務コース」を設置 コンピュータ室全台(40台)入替
平成26年3月	総合事務科、情報通信科が職業実践専門課程の認定を受ける
平成26年10月	レセプトコンピュータ(ORCA)を導入
平成27年10月	学校法人栗原学園創立60周年記念式典挙行
平成29年4月	ホテル観光ビジネス学科新設
平成31年7月	コンピュータ室パソコン全台(44台)入替

2. 各学科等の教育内容

(1) 入学者に関する受入れ方針及び定員

<入学者に対する受入れ方針>

1. 高等学校卒業及び見込みの者
2. 通常の過程による12年間の学校教育を修了した者又は修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
4. 専門学校・短大・大学卒業及び、卒業見込みの者

<定員>

学科名	定員	就業年数
総合事務科	30名	2年
情報通信科	30名	2年
ホテル観光ビジネス学科	20名	2年

(2) カリキュラム

2年間の総学習時間 2, 273時間

シラバスは北見情報ビジネス専門学校ページにて公表

(3) 進級・卒業の要件等

全学科共通

前期、後期にて定期試験を実施。前期試験と後期試験の平均にて成績評価を行う。

<進級について>

進級年次（1学年）において成績評価確定時に下記の2点を満たしている場合、進級とする

- ①出席率が8割以上であること
- ②全単位の8割以上を取得（評価が履修またはC以上の場合単位取得とする）

<卒業について>

卒業年次（2学年）において成績評価確定時に下記の2点を共に満たしている場合、卒業を認定する

- ①出席率が8割以上であること
- ②全単位の8割以上を取得（評価が履修またはC以上の場合単位取得とする）

・卒業時に全学科の学生に対して「専門士」の称号付与

※大学3年次編入が可能です

(4) 成績評価

全学科共通

- ・1年次、2年次において年2回（前期定期試験、後期定期試験）定期試験を実施
- ・採点においては内申点を含まず、定期試験の点数のみで評価を行う
（D：40点未満、C：40点以上～60点未満、B：60点以上～80点未満、A：80点以上～100点）100点満点
 - ※再試験以降に取得の教科については、再試験の点数のいかんをとわず「C」評価とする
- ・各科目において成績評価「C」以上を単位取得とみなす。なお成績評価の無い科目においては出席率8割以上をもって履修とみなす
- ・成績分布においては前期定期試験時に前期GPA、後期定期試験時に通年GPAを算出

GPA (Grade Point Average) について

前期 前期 GPA

通年 年度 GPA (前期、後期の平均による GPA)

$$\text{GPA} = \frac{\text{合計 (単位} \times \text{重み)}}{\text{履修した単位数の合計}}$$

※小数点第2位にて四捨五入

重みについて

優 (A) 4点、良 (B) 3点、可 (C) 2点、不可 (D) 0点

※再試験以降で取得した科目については重みは「1」評定は可 (C)

GPAの目的は成績分布状況の把握

(4) 目標とする資格や職業

<目標とする資格>

総合事務科

医療秘書技能検定試験、日本商工会議所簿記検定、登録販売者(公的資格)、Microsoft Office Specialist、ORCA 技能検定、調剤事務管理士、介護事務管理士、全経簿記能力検定試験

情報通信科

基本情報技術者試験(国家試験)、ITパスポート試験(国家試験)、ウェブデザイン技能検定(国家資格)、Microsoft Office Specialist

ホテル観光ビジネス学科

国内旅行業務取扱管理者（国家試験）、北海道観光マスター、Microsoft Office Specialist

<目標とする職業>

総合事務科

医療事務、調剤事務、介護事務等

情報通信科

システムエンジニア、プログラマ、web エンジニア

ホテル観光ビジネス学科

グランドスタッフ、ホテルスタッフ、観光関連職

(5) 卒業後の主な進路先

総合事務科

オホーツク海病院、河野外科医院、ランドシステム(有)、竹江整形外科医院、藤江内科クリニック、さかきばら泌尿器科、桜町調剤薬局、サッポロウエシマコーヒー(株)、(株)北海道銀行、愛しの内科クリニック、わだ小児科・循環器内科医院、北見赤十字病院、小林病院、さくら薬局、日本漁船保険組合、(株)ミズノ硝子建材、(有)エーデルワイス、道東の森総合病院、(株)カンテック、クリニックさろま

情報通信科

(株)ヘルメスシステムズ、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)エイジェック、(株)ヘルメスシステムズ、トランスコスモス(株)、(株)三和システムサービス、(株)日本プレースメントセンター

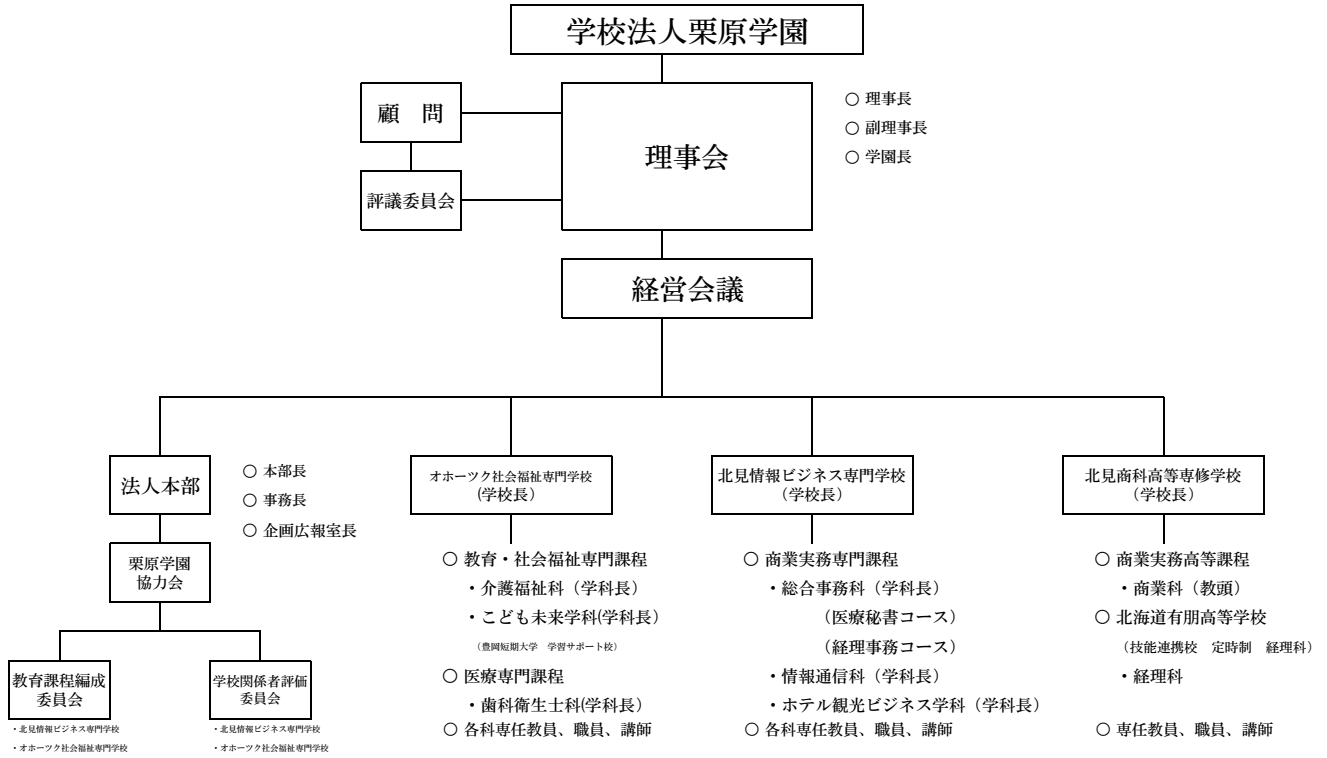
ホテル観光ビジネス学科

T A X北網(株)上ヶ島自動車、日本通運株式会社女満別総代理支店（女満別空港）

組織及び教職員の状況

(1) 教職員の組織

学校法人栗原学園 組織機構図



4. キャリア教育・職業教育

(1) 職業教育（就職支援体制と取り組み、企業実習への取り組み）

<就職支援体制>

- ・就職支援体制においては個別の事前準備、面接練習、資料作成指導を実施
- ・年1回マナーに関する外部講師よりビジネスマナーの訓練を実施
- ・企業による校内説明会または合同説明会、就職採用試験の実施

(平成30年度実績)

- 4月19日 (株)日本プレースメントセンター
- 4月20日 (株)メンバーズ (遠隔会社説明会)
- 4月25日 (株)エイジェック
- 4月26日 G-DREAMS (合同企業説明会)
- 5月17日 (株)バルテック
- 6月 5日 トランスコスモス(株)
- 8月 1日 (株)アウトソーシングテクノロジー

9月27日 トヨタカローラ北見(株)
 2月22日 (株)三和システムサービス
 (株)NK インターナショナル
 トランスコスモス(株)
 2月25日 (株)バルテック
 3月15日 (株)ヘルメスシステムズ
 3月19日 北見通運(株)
 3月28日 (株)NK インターナショナル

<企業実習への取り組み>

1年次（5日間）、2年次（10日間）の企業、病院等においてインターンシップを実施。それぞれが目指す分野の分野についての実務を体験することでより深い理解を得る

5. 様々な教育活動・教育環境

(1) 様々な教育活動・教育環境（学校行事、課外活動、他）

<学校行事>

月	行事内容
4月	栗原学園合同入学式 新入生歓迎会
5月	北専各連スポーツフェスティバル
6月	2年生インターンシップ
7月	ぼんち祭り舞踊パレード 夏休み
8月	夏休み 前期定期試験
9月	学校祭、学園祭
10月	
11月	1年生インターンシップ
12月	冬休み
1月	冬休み 後期定期試験
2月	2年生家庭学習期間開始
3月	卒業式 春休み

<課外活動>

簿記部、電卓部

毎年全国経理教育協会主催 全国簿記電卓競技大会兼国際電卓競技会に出場しています。

6. 学生の生活支援

(1) 学生支援への取組状況

- ・担任制をとっており、教科担任等と情報共有をおこない連携することで学生各自の希望とスキルにあった進路指導をしています。
- ・就職指導においては個別の面接指導または書類作成指導を行うことで就職率の向上を図っています

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）

<学費・納入金>

入学金（各科共通）

150,000 円

学費（各科共通）

	授業料	施設費	OA 実習費	合計
1 年目	580,000 円	50,000 円	60,000 円	690,000 円
2 年目	580,000 円	50,000 円	60,000 円	690,000 円
2 年間合計				1,380,000 円

諸経費

	総合事務科	情報通信科	ホテル観光ビジネス学科
1 年目	39,000 円	39,000 円	54,750 円
2 年目	44,500 円	44,500 円	67,500 円
2 年間合計	83,500 円	83,500 円	122,250 円

※テキスト代金はコースによって若干の違いがありますが、40,000 円～60,000 円程度の実費負担となります。 ※入学後 5 月中旬までに納入していただきます。

※ホテル観光ビジネス学科は、研修旅行の代金として、2年次に別途 150,000 円が必要です。

<納入方法>

学費（690,000 円）については下記の納入方法があります

①一括納付

※納入時期については基本として、合格通知受け取り後 2 週間以内です

②分納（2回払い、時期、金額については設定いただけます）

③栗原太郎・栗原寛隆・藤田禮三奨学基金

<振込先>

入学金・学費・諸経費振込先

北見信用金庫西支店 学校法人栗原学園 普通預金 112095

(2) 奨学金、授業料減免等の経済的支援措置

<奨学金>

・栗原太郎・栗原寛隆・藤田禮三奨学基金

栗原学園に通学する学生・生徒を対象に

1. 学費を全額貸付（1万円単位）
2. 返済は卒業後（返済期間 5 年、歯科衛生士科は 6 年）
3. 無利息（手続き時に 2%の事務手数料が必要）
4. 用意するのは、入学金と諸経費のみ
5. 収入基準は日本学生支援機構の収入基準に準ずる

<授業料減免>

・特待生制度（授業料半額）

受験条件の詳細につきましては、お問合せください。

<入学金減免>

・高等学校長特別推薦制度（入学金半額）

1. 対象者 人物、学業、健康ともに優れ、評定平均 3.2 以上で高等学校長の推薦を受けられる者
2. 定員 各高等学校から総合事務科、情報通信科、ホテル観光ビジネス学科の各学科に対して毎年 1 名迄

- ・兄弟姉妹入学割引制度（入学金半額）

兄弟姉妹で本学園に出身者がいる者、または、現在本学園に在学している兄弟姉妹がいる者で、証明書を提出頂いた方が対象です。

※高等学校長特別推薦制度と兄弟姉妹入学割引制度の併用不可

<生活支援制度>

- ・ひとりぐらし応援制度

ひとり暮らしをする学生に家賃の一部として、毎月 2 万円を補助
申請条件（下記のどちらか片方を満たしていること）

- ①実家から栗原学園まで 60km 以上離れている
- ②実家から栗原学園まで公共の交通機関利用で 1 時間以上かかる

<その他の減免制度>

- ・大学等における修学の支援に関する（令和元年法律第 8 号）による修学支援の対象校

※制度に関する詳細は文部科学省 高等教育の支援制度

(<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>) をご覧ください。

- ・教育訓練給付制度

社会人が対象です制度に関する詳細はハローワークにて

8. 学校の財務状況

(1) 貸借対照表

情報公開ページ (<http://www.kurihara.ac.jp/johokokai/>)

収支計算書・財産目録・貸借対照表・監事による監査報告項目にて公表

平成 28 年度 (<http://www.kurihara.ac.jp/pdf/h28infoDisc.pdf>)

平成 29 年度 (<http://www.kurihara.ac.jp/pdf/h29infoDisc.pdf>)

平成 30 年度 (<http://www.kurihara.ac.jp/pdf/h30infoDisc.pdf>)

9. 学校評価

(1) 自己評価

自己評価結果は情報公開ページ (<http://www.kurihara.ac.jp/johokokai/>)

学校関係者評価項目にて公表

平成 30 年度 (http://www.kurihara.ac.jp/wp/wp-content/uploads/hyouka_j30.pdf)

(2) 学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告書は自己評価ページと同ページにて公表

平成 30 年度 (http://www.kurihara.ac.jp/wp/wp-content/uploads/hyouka_j30.pdf)